



ミクロネシア諸島自然体験交流事業

参加者募集

日本と歴史的つながりが深いミクロネシア諸島のサンゴの海や森など豊かな自然の中で、自然体験や異文化体験及び同世代の現地の子供たちとの交流などを通じて、自然の素晴らしさや共存することの大切さを学ぶとともに、環境問題への理解を深めます。

事業期間 2025年7月28日（月）～8月6日（水）9泊10日

訪問地域 マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオ共和国

活動内容 ① 海や森林での活動プログラム

② 安全を重視した野外生活体験（離島に1泊2日）

③ ホームステイ（1泊2日）

④ 現地の子供たちとの交流

⑤ 平和学習

募集人数 小学5年生～中学2年生 36名程度

参加費 150,000円（税込）

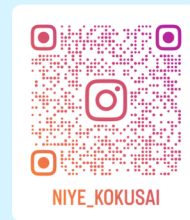
応募方法 募集要項をご確認ください



募集要項はHPをチェック！

訪問地域 マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦（チューク州）、パラオ共和国

事業期間 2025年7月28日（月）～8月6日（水）9泊10日
（7月28日は国立オリンピック記念青少年総合センターで事前研修を行います。）



活動の様子はこちらから！

各地域での主な活動内容

①海や森林での活動プログラム

豊かな自然の残る地域を訪問し、サンゴの美しい海での遊泳、浜辺遊び、亜熱帯のジャングル散策などを行います。自然を観察し、自然の大切さや雄大さを学びます。

②安全を重視した野外生活体験

1泊2日の離島生活体験では大自然の中で食事や宿泊（ロッジや小屋）を行います。シャワーもトイレを流すのも、雨水と汲んできた海水だけです。水の貴重さと自然の大切さを学びます。

③ホームステイ

島の人たちが普段どのような生活をしているのか、一緒に過ごすことにより異文化を体験し、交流を深めます。

④スポーツおよびレクリエーション

訪問先の同世代の子供たちと、スポーツや歌、踊りを通して、文化交流を行います。

⑤平和学習

太平洋戦争について、現地での戦跡等にふれ、現地で亡くなられた方達に思いを馳せるとともに、平和の大切さを学びます。

※気象状況などにより、活動内容が変更される場合があります。

募集人員及び応募資格

日本国内に在住している小学5年生から中学2年生までの児童・生徒 36名

- ①初めて出会う日本や外国の子供とともに、仲良くスポーツやレクリエーション活動、生活ができること。
- ②自分の身のまわりのことは、自分でできること。
- ③自然の中でのキャンプや、海や森の中での活動ができること。
- ④普段の生活と異なった場所で共同生活ができること。
- ⑤いつも飲んでいる薬がある場合、決められた飲み方、飲む量を自分で確認して飲むことができること。
- ⑥飛行機や船などを利用した長時間の移動ができること。

参加申込締切 2025年5月11日（日）

参加費 ひとり 150,000円（税込）

（往復航空運賃、期間中の宿泊費及び食事費、研修、見学などのプログラム活動費の一部に充当されます。）

後援 外務省、文部科学省、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオ共和国

主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構

お問い合わせ

独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金部

国際・企画課「ミクロネシア事業」担当係

住所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

電話：03-6407-7725 Mail：honbu-kokusaikikaku@niye.go.jp

受付時間：土日祝日を除く9時30分～17時00分（※12～13時を除く）



ミクロネシア諸島とは、フィリピンの東からハワイにかけて、赤道より北に点在する大小2,000以上の島々からなる地域の総称です。美しい砂浜、マングローブの森や植物群、熱帯のジャングルなど世界でも類を見ない「自然の宝庫」と言われています。



National Institution For Youth Education
独立行政法人 **国立青少年教育振興機構**